

2020 年度日本海洋学会第 6 回幹事会議事録

日時:2021 年 4 月 7 日(火)13:30~16:30

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、安藤、岩本、梅澤、江淵、岡(顕)、岡(英)、乙坂、帰山、川合(美)、川合(義)、高橋、土井、中野、西部、野口、三角、安田(途中から参加)、安中、吉田、事務局(毎日学術フォーラム:平坂)

議題

1. 議事録(案)承認(三角幹事)

2020 年度第 5 回幹事会の議事録(案)が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡(英)幹事)

2020 年 12 月から 2021 年 1 月の入会者(5 名)と退会者(8 名)が承認された。2021 年 1 月末時点の会員数は、1490 名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について(岡(英)幹事)

後援・協賛等について 3 件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼(岡(英)幹事)

公募・推薦 8 件、シンポジウム・講演等 4 件、その他 7 件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信されたことが報告された。

(4) 受賞記念講演の座長について(岡(英)幹事)

受賞記念講演の座長について提案され、承認された。

(5) 2021 年度「青い海助成事業」の採択について(梅澤幹事)

2021 年度「青い海助成事業」に申請された 2 件の案について、海洋環境委員会から推薦があり、2 件とも承認された。

(6) 通常総会に関わる「意見交換の場」の設定案について(乙坂幹事)

通常総会の開催方法について審議した。昨年度と同様、資料をオンライン上で閲覧できるようにし、Google フォームによるアンケートにより審議することが承認された。また、会員からの意見を聞く機会を設けるため、オンライン上の掲示板を使用することが承認された。

(7) 「海洋学の 10 年展望 2021」の「海の研究」の特集について(吉田編集委員長)

「海洋学の 10 年展望 2021」の「海の研究」の特集については、日本海洋学会の企画とし、通常部数の出版費用は学会が支払うことが承認された。

3. 報告事項

(1) 会長(神田会長)

コロナ禍の影響で先が見通せない状況ではあるが、秋季大会の開催等、学会として必要な事柄について着実に対応していくということが述べられた。

平啓介名誉会員、小達恒夫会員がご逝去されたことが報告され哀悼の意が示された。

評議員会、総会等、の今後のスケジュールについて報告された。また、3月20日に海洋生物学シンポジウムが開催されたことが報告された。

2021年度の幹事の役割分担について報告された。

防災学術連携体が4月1日より一般社団法人化し、それに伴って正会員として入会することが求められ、東京大学の升本会員、丹羽会員に入会手続きを依頼したことが報告された。2021年度からは中野幹事を防災対応担当とし、升本会員、丹羽会員と連携して対応する方針であることが述べられた。

マスタープランについて今後の方針について報告された。

(2) 庶務(岡(英)幹事)

更新された幹事の分担業務内容のマニュアルについて報告された。

(3) 会計(安田幹事)

2020年度決算および2021年度予算、今後のスケジュールについて報告された。

(4) 研究発表(川合幹事、西部幹事)

今後の大会の開催予定について報告された。

2021年度の秋季大会の準備状況について、現状ではオンラインをベースとして、一部現地開催を併用する方針であることが報告された。コロナ禍の影響が流動的であるため、開催方式については幹事会とLOCに一任してもらうことで評議員会に諮ることとした。また、シンポジウムの募集をかけることとした。

大会要旨集の扱い(著作権譲渡、公開方法)や、個人情報保護の取り扱いについて、今後、検討を進めていくことが確認された。

(5) 編集

① JO(江淵編集委員長)

JO(Vo. 75(1)からVol. 77(2))の発行状況、投稿・受理状況について報告され、特集セクションの発行の見通しについて報告された。

レビュワーにインセンティブを設けることについて意見交換を行った。

② 海の研究(吉田編集委員長)

海の研究の第 30 巻 2 号が年 3 月 15 日に発行されたこと、第 30 巻 3 号が 5 月 15 日に発行予定であることが報告された。

③ ニュースレター(安藤編集委員長)

JOS ニュースレター(第 10 巻 4 号)が予定通り 3 月 1 日に発行されたことが報告された。
2021 年度に 80 周年特別号を出版する計画について報告された。

(7) 広報委員会(安中幹事、帰山幹事)

海の女性ネットワークが主催した 3 月のキャリアデザインセミナーを、海洋学会として後援したことが報告された。

JpGU において日本海洋学会としてブースを出展する(Confit を用いたオンライン形式)ことが報告された。

(8) 海洋観測ガイドライン編集委員会(乙坂幹事)

和文第 4 版の修正依頼があり対応したことが報告された。

2021 年度の編集委員について報告された。

(9) 海洋環境委員会(梅澤幹事)

「青い海助成事業」について審議されたとおり、応募のあった案件について対応を行ったことが報告された。海洋環境委員会の委員の交代について報告された。

(10) 海洋環境問題研究会(梅澤幹事)

研究会の会長が交代する見込みであることが報告された。

(11) 教育問題研究会(安中幹事、伊藤副会長)

2 月 11 日に全国海洋教育サミットがオンラインで開催され、市川会員が教育問題研究会の活動を紹介したことが報告された。

3 月 21 日にオンラインでサイエンスカフェを開催し、JAMSTEC の土井会員に話題を提供頂いたことが報告された。

教育問題研究会が中心となって取りまとめ、一家に一枚ポスターとして応募していた、「私たちの生活を支える海」のポスターの Web 版が、JAMSTEC から提案され、採択された一家に一枚ポスター「海 ～その多様な世界～」の特設サイトのリンクとして掲載されたことが報告された。

(12) ブレークスルー研究会(岡(英)幹事)

4 月 1 日に研究会の会長が JAMSTEC の茂木会員に交代したことが報告された。

(13) 海洋生物学研究会(西部幹事)

3月20日に海洋生物シンポジウムがオンラインで開催されたことが報告された。

(14) JpGU(三角幹事、川合幹事)

JpGU2021は完全にオンラインで開催されることが決定したことが報告された。JpGU 2021のスケジュールについて報告された。

参加登録の締切が例年より早いので、学会メーリングリストで注意喚起することとなった。

(15) 震災対応(乙坂幹事)

処理水の海洋放出への海洋学会の対応の基本方針(案)が報告された。

(16) 研究に関する将来構想 WG(岡幹事)

研究に関する将来構想 WG において取りまとめている「海の研究」の特集の原稿の進捗とパブリックコメントの募集の準備状況について報告があった。

(17) 男女共同参画(安中幹事、伊藤副会長)

1月に募集のあった、第6期科学技術・イノベーション基本計画の答申素案について、男女共同参画学協会連絡会から、「新規採用だけでなく上位職にも女性比率の数値目標を設けるべき」というコメントを提出したことについて報告があった。

男女共同参画学協会連絡会の運営委員会が3月23日に開催されたことが報告された。8月8、9日に女子中高生夏の学校がオンラインで開催されることが報告され、海洋学会も参加することが報告された。

ピクチャーオブサイエンスの動画を学会メーリングリストで周知したことが報告された。

男女共同参画学協会連絡会で作成された「無意識のバイアスコーナー」について情報共有がなされた。

女性を対象とした表彰について情報共有がなされた。

(18) 若手支援(伊藤副会長)

日本海洋学会若手海外渡航援助、日本海洋学会若手集会助成の準備状況について報告された。

(19) リクルート戦略 WG(梅澤幹事)

学会の活動について学会員に理解を深めてもらう必要性について情報共有がなされた。

(20) 80周年記念事業 WG(乙坂幹事)

80周年記念事業に関する趣旨、事業方針と体制、記念シンポジウム・記念セッション、記念誌・記念論文集等の案について報告された。

(21) 倫理規定および個人情報保護に関する規定(伊藤副会長)

倫理規定と個人情報保護の取り扱いについては、伊藤副会長が原案を作成することとなった。

以上